

船橋市議会議員 松下政経塾出身

つまがり俊明

議会レポート



津曲俊明の議会での質問は <http://tsumagari2010.com/> をご覧ください。

三方良しの船橋健康ポイント事業

●歩くことは健康の基本とか

皆様、こんにちは。市内を車で移動することが多い私ですが、最近はなるべく歩くことを心掛けています。スマートフォンの歩数計のアプリを見ると、ここ1週間の1日平均は7,000歩ほどです。皆さんはいかがですか？さて、今年の秋から、船橋市でも健康ポイント事業が行わ

れます。これは健康寿命を延ばすことを目標に、ウォーキングや体操などの活動に対してポイントが加算され、健康づくりに取り組む動機づけをしようというものです。市役所や駅など市内10カ所程度に専用のタブレット端末を置き、活動量や体組成のデータ

6/23 (土) つまがり俊明ミニ集会 ※裏面に続く。

◇テーマ：健康ポイント事業について（つまがり俊明）

◇ゲスト：衆議院議員：宮川伸（立憲民主党、千葉13区（船橋北部エリア他））
～国会、霞ヶ関の現状と民主主義において憂慮すべき事～

◇日時・場所：6/23 (土)

①13時～14時 二和公民館第3集会室

(住所：船橋市二和東5-26-1)

②15時半～16時半 丸山公民館第3集会室

(住所：船橋市丸山5-19-6)

◇参加費：無料 ※定員25名程度

◇構成：つまがり報告（20分）

ゲスト：宮川伸さん講話（20分）

質疑・フリートーク（20分）

◇申込み：準備の関係上、裏面青字のメール又はFAXにて事前にご連絡いただくと幸いです。

もちろん、飛び入り参加、途中参加も大歓迎です。

◇政治は政治家のためでも政党のためでもなく、国民市民の暮らしのためにあります。皆様の日常生活、現場のリアルな声に根差した対話を重ね、ボトムアップの政治を実現していきましょう！



ゲスト：立憲民主党 宮川伸衆議院議員

を把握、ポイント数に応じ抽選で船橋産品ブランドなどの景品と交換しようというものです。

●医療費削減効果もあるのか？

はい。これは個人が健康になる、景品をもらえるということだけではありません。ある先行市のデータによれば一人当たりの医療費削減効果の実績は実に172,000円にのぼるとのことです。増え続ける医療費によって船橋市の国民健康保険も税によって赤字補填をせざるを得ない状況です。今後の社会保障の持続性のためにも大変有益です。また健康ポイントが地域経済活性化にもつながります。私も昨年の議会で取り上げてきましたので、大変楽しみにしております。

●参加人数はどれくらいですか？

市内在住・在勤の20歳以上の方なら

誰でも参加できますが、まずは5,000名ほどから始めます。6月にはさらに事業の詳細が決まっていると思います。詳しくは、6/23(土)のミニ集会にてお伝えできたらと思います！



◇先行するさいたま県志木市の歩数計とポイント獲得の様子

◆最後までお読みいただきありがとうございます。ご意見・ご要望がありましたら下記までお気軽にご連絡ください！

つまがり（津曲）俊明のプロフィール

- ・1977年 船橋市生まれ 40歳
- ・二和保育園、三咲小、御滝中、鎌ヶ谷高校
- ・明治大（法）、明大院（公共政策）、(株)ESP総研を経て、旧自治省（Ⅱ種採用）、神奈川県庁出向。民間や国と地方の行政経験を通して、福祉や社会保障の持続可能性に危機感を抱く。2008年退職。（公財）松下政経塾で3年間、地域医療や地域づくりをテーマに研究。
- ・2011年船橋市議会議員初当選、2015年2期目当選（3623票73名中12番目）現在、市民環境経済委員長
- ・鎌ヶ谷高校同窓会副会長、青少年相談員
- ・趣味：ラグビー・剣道（二段）・城跡巡り

＜連絡先＞〒274-0065 船橋市高根台6-28-12

TEL&FAX 047-401-0940

メール：toshi@tsumagari2010.com

facebook:https://www.facebook.com/toshiaki.tsumagari

市民の投稿ひろば ふなばしろう（仮名）

自宅近くの小学校の学童通学路である歩道に、日常的に車両が駐車し歩道通行の妨げとなっている部分があります。そこは駐車禁止等の規制はありません。小学校に通う学童の朝夕の通学ルートで、更に子供たちの遊び場となっている公園に面していて、学童の車道への飛び出し、車道通行、それらに伴う車両との接触による死亡事故など重大な事故が発生してしまうのではないかと懸念があります。

一方、住人の生活を維持するのに欠かせない社会インフラ道路として、郵便・宅配物の配達、要介護者の送迎、同じく食材・日用品の配達等の短時間の車両停車は必須の状況となっております。行政・警察には、このような市内の状況をよく把握していただき、学童の人命最優先の視点で通学路の車両駐車禁止規制等の安全対策をお願いしたいと思います。